

第2回地域国際化推進検討委員会議事要旨

- 1 日 時 平成15年1月30日(木) 10:00~12:00
- 2 場 所 東京都庁第一本庁舎42階特別会議室C
- 3 出席者 【委 員】
アイ・クスハヤティ委員、浦野委員、小作委員、梶村委員、
金委員、クリスチャン・ポラック委員、坂井委員、柳澤孝志
委員、柳澤美香委員
【事務局】
保持生活文化局文化振興部参事、藤井生活文化局文化振興部
事業推進課長
【オブザーバー】
藤田産業労働局観光部振興課長
【傍聴者】
11名
- 4 議 題
 1. 効果的な表記について（表記の場所、方法、普及、そ
の他）
 2. 「外国人にもわかりやすいまちの表記に関するガイ
ド（仮称）」（案）について
 3. その他
- 5 配付資料 資料 1 第1回地域国際化推進検討委員会議事要旨
資料 2 第1回検討委員会及び第1回・第2回連絡会議に
おける意見のまとめ
資料 3 「外国人にもわかりやすいまちの表記に関するガ
イド（仮称）」（案）
- 6 会議内容
 1. 事務局から第1回検討委員会及び第1回・第2回連絡
会議における意見及び「外国人にもわかりやすいまち
の表記に関するガイド（仮称）」（案）について説明
- 7 意見等

〔委員長〕 ・「外国人にもわかりやすいまちの表記に関するガイド（仮称）」（案）の構成や内容をほぼ確定して承認してもらいたい。
・ガイドの内容をどのように普及させるかについて、施設内の表記や誘導について意見を出して欲しい。



<ガイド(案)の内容について>

- 〔委員〕 ・インフォメーションセンター（有人案内所 ?）と情報コーナー（無人 i）のピクトグラムは統一したほうがよい。別々だと混乱するのではないか。
- 〔委員〕 ・人のいる案内所は?で表示し、パンフレットのラックや地図はピクトグラムをつけなくとも目立つところに置いてあればいいのではないか。
- 〔委員〕 ・ガイド（案）では、無人だが地図など重要な情報が得られる（置いてある）場所という意味で（i）マークを使っているが、有人である（?）のレベルとは違うと考えることはできる。
- 〔委員〕 ・インフォメーションセンター（?）には当然情報コーナーの機能が設けられている。
- 〔委員〕 ・JIS規格（「案内用図記号 JIS Z8210」）の規定とは異なる使い方を東京都がすると、都内と都外でマークの使い方が違うことになり混乱をきたすことになるのではないか。
- 〔委員〕 ・JIS規格に則ったものをいかに多くの人に情報発信するかが大切。
- 〔委員〕 ・ピクトグラムは、だれにでもわかりやすく日本全国で使えるものがいい。
- 〔委員〕 ・JIS規格と異なる部分があるにしても、使う側の実情に合わせて運用していくべきだ。
・東京都が始めれば全国に対しても大きな影響力をもてるのではないか。

〔委員〕 ・記号やマークというものは、ある一定のものにとにかく決めてしまわないと決まらない。それを徹底して普及することへの努力の方が重要だ。さらに、なるべく数は少なくシンプルにするのが基本だ。

〔委員〕 ・JIS規格の説明では(i)マークは「Information」となっているが、実際の表示で「Information」と表記すると有人案内所の印象を受ける。



・(?)マークは、JIS規格の説明では「Question & answer」となっているが、ガイド(案)の実例にある案内図の凡例には「Tourist information」となっている。この部分の統一性について疑問がある。

〔委員〕 ・東京の場合地下鉄と地上路線との相互乗り入れが多く、それを案内するのは難しい。

〔委員〕 ・放送で次の駅の案内をして地下鉄への乗り入れか、そうではないかを判断してもらえばいいのではないか。

〔委員〕 ・放送だと多くの言語を流せないが、車両の出入口ディスプレイで乗り換え・乗り入れ等を表示するのがいいのではないか。

〔委員〕 ・外国人が空港から駅に行く間に、交通路線や交通機関に関する誘導が必要だ。

〔委員〕 ・東京の交通(特に鉄道)は便利になった一方でとても複雑になっている。利用する側も使いこなす努力が必要だ。

〔委員〕 ・ガイド(案)では、案内図で交通施設の記名を4カ国語併記にすることが示されているが、ローマ字併記で済む駅もあるのではないか。

〔委員〕 ・広域避難場所や警察署など非常に多くの人の安全にとって必要な部分については、4カ国語併記が必要ではないか。

〔委員〕 ・郵便局のピクトグラムは封筒マークになっているが、地図記号では普通「〒」だ。地図記号とピクトグラムの関係はどのようなになっているのか。

〔委員〕 ・案内地図に掲載する施設の取捨選択については、明確な基準を設けて行うべきだ。

〔委員〕 ・ランドマークとして定着しているかどうかだろう。

〔委員〕 ・ピクトグラムを使う場合、なるべく目立つような色の使い方についても配慮した方がいい。

〔委員〕 ・ピクトグラムについては、日本で通用しているものと国際的に通用するものとのバランスに配慮して使い方を考えて欲しい。

<ガイドの内容の普及>

〔委員長〕 ・どうやって施設等にガイドの内容に沿った表示を設置してもらうかという側面と、利用する側の外国人にピクトグラムの意味などをどうやって周知するかという側面がある。

〔委員〕 ・いろんなピクトグラムをつくるのではなくて、統一をする努力をしてほしい。

・幼稚園や保育園の子どもたちにピクトグラムを教えるための楽しめるテキストを作成して、低年齢層から定着させていけば定着しやすい。

〔委員〕 ・そうしたテキストは、外国人に日本語を教える際の教材として使える。また、学校の国際理解教育の場で使えるようなものがある。

〔委員〕 ・外国人への周知ということ考えると、空港のインフォメーションセンターなど外国人の方が多く行く場所で周知できるようにすることが必要になる。

・都から民間への働きかけは必要だが、それに強制力を持たせるのは難しいだろう。



〔委員〕 ・わかりやすく便利だということが認められていけば普及しやすいだろう。

〔委員〕 ・日本の地図記号というのは国土地理院が用いているものが普及しているが、ピクトグラムのほうが外国人もふくめてだれもが分かりやすいというのであれば、学校の教科書用の地図もそれに合わせるように国に働きかけることも必要ではないか。

<施設内の誘導>

〔委員〕 ・誘導のルートを色のラインで示すなど、表示だけでなくもっと色を効果的に使えばもっと分かりやすくなるだろう。